

まちづくりのテーマ

# みんなで進める！ 持続可能なまちづくり

市民ニーズの多様化・増大化への行政対応の限界状況に対応するとともに、「まちづくりの主人公は市民」との理念の下、市民とともに「まちの未来」をつくっていくために、市政への市民参画、協働によるまちづくり、コミュニティ組織の支援・強化等を推進していきます。

適正な財政基盤を確立すると同時に、市民ニーズに対応し、まちづくりを推進していくため、必要な行政組織の整備・確立、人材育成、他自治体との広域連携を積極的に推進していきます。

「安心して暮らせる地域社会」を創造していくため、「自助」「共助」「公助」それぞれを大事にしながら、消防・防災、防犯、交通安全、公共交通、消費生活の各課題に取り組んでいきます。

## 施策体系図



## 施策目標 1 市民とともに作る「まちの未来」

人口減少、高齢化の進展など対応すべき課題が山積しています。しかし、課題解決の役割を期待されている自治体もまた、厳しい財政事情の中で、増大する行政需要に対応するだけの余力を失い、多様な市民ニーズへのきめ細かな対応もできなくなりつつあります。こうした状況を打破するとともに、「まちづくりの主人公は市民」との理念の下、市民とともに「まちの未来」をつくっていくために、市政への市民参画、協働によるまちづくり、コミュニティ組織の支援・強化等を推進していきます。

## 施策目標 2 持続可能で質の高い行政サービス供給の基盤形成

今後も厳しい財政運営が予想される中で、いかに、質の高い行政サービス（＝多様な市民ニーズや多様な地域事情に対応した行政サービス）を持続的に供給できるかが大きな課題となっています。

合併以降、財政基盤の確立を第一義とした財政運営を行ってきました。もちろん、適正な財政基盤を確立していくことの重要性は今後も変わりませんが、今後 10 年間では、それにとどまらず、より積極的に、多様な市民ニーズや地域事情に対応した行政サービス供給やまちづくりを推進していきたいと考えています。そのため、現場主義を重視し、戦略的予算編成の仕組みや情報技術の活用などによって意思決定システム<sup>〇</sup>の整備を行うとともに、「人材こそが成否のカギを握る」との発想に基づき人材育成にも積極的に取り組んでいきます。また、他自治体や産学官との連携が行政サービスの向上・効率化にとって有用であることから、広域連携も積極的に推進していきます。

## 施策目標 3 安心して暮らせる地域社会の創造

近年、記録的な集中豪雨や東日本大震災をはじめとした災害、凶悪な犯罪、高齢者を狙った詐欺事件などが頻発し、人々の暮らしの安心が脅かされています。また、他方で、バスの撤退など、地域公共交通の衰退も顕著であり、地域で住み続けることが難しい状況も生じています。こうした中、由布市では、「消防・防災」、「防犯」、「交通安全」、「公共交通」、「消費生活」の各課題に積極的に取り組んできました。「安心して暮らせる地域社会」の創造のため、今後も行政に求められる役割は決して少なくありません。しかし、そうした「公助」だけでは上記の諸課題の解決にとって十分でないことも事実です。防災を例にとれば、「自分の身は自分で守る」という「自助」や「自分たち（地域）の安全は自分たち（地域）で守る」という「共助」が、「公助」以上に必要なのです。（ただし、「自助」「共助」できるような環境整備を「公助」で行っていくことも大事です。）そこで、これからの 10 年間は、「自助」「共助」「公助」それぞれを大事しながら、上記の課題に取り組んでいきます。

### 下位の個別計画等

由布市地域公共交通総合連携計画、由布市行財政改革実施計画、由布市地域防災計画、由布市国民保護計画、由布市公共施設等総合管理計画、由布市過疎地域自立促進計画、辺地総合整備計画、山村振興計画



### 用語解説

#### 【意思決定システム】

行政内部の意思決定に至るまでの行程や手順のこと。

まちづくりの  
主人公は市民！



